



ハイデガー研究会主催  
『存在と時間』刊行90周年記念シンポジウム

# ハイデガー 『存在と時間』

2017

2017年11月25日(土)

9:30-18:30

青山学院大学

青山キャンパス2号館225/226/228/220教室

参加費 ¥1,000 (当日受付にてお支払い下さい)

協賛 岩波書店・法政大学出版局・KADOKAWA・講談社

「存在の問い」を掲げて哲学界に登場して90年。ハイデガーの『存在と時間』は今なお、多くの人々の注目をひきつけてやまない。だが、その本来の意図は究明されたのか。新たな解釈と応用の可能性はどこにあるのか。ハイデガーに関心を寄せる国内の研究者が集い、『存在と時間』をめぐって徹底的に議論を交わす。

時間	プログラム	教室	発表者
09:30-10:30	開会記念講演	225	森一郎 (東北大学) 司会：陶久明日香 (成城大学)
10:30-11:20	研究発表①	225	高井寛 (東京大学) 「私たちは自分が何をしているかを知らない」 司会：小柳美代子 (早稲田大学)
		226	鈴木優花 (慶応義塾大学) 「本来的に話すこと——不安の惹起をめぐって」 司会：関口浩 (早稲田大学)
		228	安田悠介 (東北大学) 「歴史の時間と自然の時間——『存在と時間』の時間論について」 司会：酒井潔 (学習院大学)
11:30-12:20	研究発表②	225	瀧将之 (上智大学) 「なぜ「私たちは真理を前提せざるをえない」のか？」 司会：小柳美代子 (早稲田大学)
		226	木村史人 (立正大学) 「『存在と時間』における技術論の射程」 司会：関口浩 (早稲田大学)
		228	山中健義 (学習院大学) 「ロムバッハの構造存在論における「現象」と「存在」の問題——ロムバッハの前期ハイデッガー解釈に関する一考察——」 司会：酒井潔 (学習院大学)
12:20-13:30			昼休み
13:30-14:20	研究発表③	225	小村優太 (東京大学) 「ハイデガーによる真理論の系譜の再検討——アヴィセンナからイサク・イスラエリに遡ることは可能か」 司会：小柳美代子 (早稲田大学)
		226	戸谷洋志 (大阪大学) 「反ハイデガー的転回のおとで——ヨナスにおけるヒトクローニングへの実存主義的批判」 司会：関口浩 (早稲田大学)
		228	大江倫子 (首都大学東京) 「『存在と時間』の彼方へ——デリダ『ハイデガー』講義の視点から——」 司会：齋藤元紀 (高千穂大学)
14:30-16:20	ワークショップ『存在と時間』の射程①	226	「「ソルゲ (気遣い・憂愁・ケア)」としての現存在のありかたをめぐって」 コーディネーター：古荘真敬 (東京大学) パネリスト：川口茂雄 (甲南大学)・丹木博一 (上智大学短期大学部)
14:30-16:20	ワークショップ『存在と時間』の射程②	228	「意味・解釈・翻訳」をめぐって コーディネーター：渡邊和典 (学習院大学) パネリスト：西山達也 (早稲田大学)・森田團 (西南学院大学)
16:30-18:30	シンポジウム『存在と時間』2017	225	パネリスト：高田珠樹 (大阪大学)・相楽勉 (東洋大学)・加藤恵介 (神戸山手大学)・齋藤元紀 (高千穂大学) 司会：的場哲朗 (白鷺大学)